

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成26年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立青少年センター	所管課	社会教育課
所在地	甲府市川田町517	設置年月日 (改築年月日等)	昭和45年12月1日
管理方式	指定管理者(公益財団法人山梨県青少年協会、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立青少年センター設置及び管理条例		
設置目的	青少年に自主的かつ創造的な活動、交流等の場を、青少年を指導する者に研修の場を提供することにより青少年の健全な育成を図るとともに、勤労者に研修、交流等の場を提供することによりその福祉の増進に資するため。		
主な施設内容 (定員等)	・本館：第1研修室(72人)、第1会議室(24人)、第2会議室(45人)、第3会議室(24人)、第4会議室(12人)、第1・第2和室(各5人)、運動場、テニスコート、宿泊施設、食堂、事務室、書庫兼会議室、青少年相談室、体育館、プール(25m×15m、7コース) ・別館：音楽室、団体事務室、団体交流室、多目的ホール ・リバース和戸館：第5会議室(18人)、第6会議室(18人)、第7会議室(25人)、第2研修室(50人)、第3研修室(30人)、第3和室(30人)、視聴覚室(48人)、体育館、トレーニング室		
主な業務内容	施設の利用承認等に関する業務 施設管理に係る業務 青少年健全育成等に関する業務 防災等に係る業務 管理運営に必要な業務 施設及び設備の維持管理業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	男女共同参画推進センター(ぴゅあ総合)、小瀬スポーツ公園、緑が丘スポーツ公園
---------------------	--

3 利用状況

単位：人、%

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度 (目標値)
利用者数	利用者数	288,025	248,126	221,267	
	利用者数合計	288,025	248,126	221,267	
	目標値	289,000	289,000	288,461	288,898
	目標値設定の考え方及びその理由	前年度、目標値まであとわずか1,000人となったので、当年度も前年度と同様の数値目標とした。	過去5年間の実績最大値である平成24年度実績値に平均上昇率を乗じて、指定管理期間最終年度の目標とした。	過去5年間の実績値と平均上昇率を参考に目標値を設定した。	過去5年間(21年～25年度)の実績値と平均上昇率を参考に目標値を設定した。
	対24年度比	100.0%	86.1%	76.8%	100.3%
稼働率		47.6%	44.0%	43.2%	

#### 4 指定管理業務の収支状況

		平成25年度	平成26年度 (計画値)	平成26年度 (実績値)	平成27年度 (計画値)
収 入	施設利用料	20,935,540	22,356,000	21,758,760	22,400,000
	指定管理者委託料	102,258,000	107,180,000	107,180,000	103,978,000
	その他	29,211,069	24,034,000	32,313,500	30,900,000
	収入合計(A)	152,404,609	153,570,000	161,252,260	157,278,000
支 出	人件費	79,802,168	78,358,000	76,246,650	78,450,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	60,223,836	75,212,000	80,128,305	78,828,000
	うち外部委託費(B)	17,092,724	19,489,000	24,360,698	24,400,000
	支出合計(C)	140,026,004	153,570,000	156,374,955	157,278,000
収支差額(A-C)		12,378,605	0	4,877,305	0
外部委託比率(B÷C)		12.2%	12.7%	15.6%	15.5%
利用者一人当たりの経費		412.1	372.0	484.4	359.9

#### 5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成26年4月～27年3月、実施方法:利用者へのアンケート、回答数: 1,971人
-------	---

単位: %

調査項目	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満
施設の広さは十分で すか	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%
備品用具の種類・数量 は十分でしたか	90.6%	9.4%	0.0%	0.0%
施設等は全体として充 実していましたか	87.6%	11.6%	0.7%	0.1%
利用施設は清潔でし たか	87.5%	9.4%	3.1%	0.0%
設備は使いやすかつ たですか	87.3%	12.0%	0.6%	0.1%
設備用具の整備状況 は良好でしたか	90.6%	9.4%	0.0%	0.0%
料金は適切だと思いま すか	88.0%	10.8%	1.1%	0.1%
職員の対応は適切で したか	90.0%	8.7%	1.2%	0.1%
利用可能時間は適切 と思いますか	87.9%	10.4%	1.2%	0.5%
施設のバリアフリーは 十分でしたか	89.7%	10.3%	0.0%	0.0%
サービス内容は全体 的に良好でしたか	90.3%	9.7%	0.0%	0.0%

利用者の意見	1 空調の効きが悪い(音楽室)。 2 リバース和戸館にエレベーターを設置して欲しい。 3 少人数でも最低2時間は使わせてほしい(体育施設)。
利用者の意見への対応	1 音楽室の冷房設備は経年劣化により冷房能力が低下している。苦情の度に業者へ能力の改善を求めているが、機械性能の限界を超えているためこれ以上の改善は難しい。今後県と協議し、対応を図っていく。 2 ご予約の際にエレベーターのある本館の利用をすすめるように徹底していく。今後、同意見が多数寄せられる様であれば、設置方法なども含めて県と協議し、対応を図っていく。 3 利用を希望する方々に公平な施設利用と、利用の競合を防ぐという観点から、ご利用人数によって「時間」と「スペース」に制限を設けて貸出している。「5名以下の利用」は予約可能時間を1時間としており、「6名以上の利用」で2時間まで予約可能としている。また、通常利用とは別に、条件を満たせば2時間以上の予約が可能な「競技会利用」があることを案内していく。

## 6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法規に定めのないものについては、安全性をより重視して日常点検・月次点検・定期点検を職員が実施した。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に業務執行されている。
運營業務	事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。	事業報告書及び現地確認の結果、適正に業務が運営されている。今後も創意工夫を凝らし、利用者の増加やサービスの向上に努めること。
自主事業	計画どおり各事業を実施することができた。	業務計画書どおり、適正に実施されている。
利用状況	・利用者数は、前年度に比べて減少した。その主な要因としては、競技会利用が減少した事とサークルが分裂し、体育施設から多目的ホールへ会場を移動したことが考えられる。そのため、会議施設は、近年に比べ半日単位の利用率は増加した一方、終日利用の講演会やセミナー等の利用人数規模の大きな団体が利用できない結果、利用者数が減少となった。 ・利用者区分を前年度と比較すると、小中高校生の利用については前年度と同様だが、一般区分の利用者数に減少がみられた。	・利用者が減少している施設については、十分に会議で検討し、最善の方法を実行していくとともに、効果的なPR活動等を行い、利用者数の増加を図ること。 ・特に新規利用者に対して、利用方法や予約の空き状況などを丁寧に説明し、再利用していただけるように工夫すること。 ・事業参加者を増加・確保するため、魅力ある事業を展開すること。
収支状況	施設利用料は、前年度に比べて増加した。増加した要因は、競技会利用が減少したことで体育施設の利用料は減少したが、会議室の利用率が向上したことで、全体の稼働率が上がり、増加となった。	・利用者に満足いただき、再利用されるよう、一層のサービス向上及びPRに努めること。 ・利用料金収入が減少した部分について十分に分析・検討し、職員一同が共通認識を持ち、常に改善のために努力と工夫をしていくこと。
利用者満足度	利用者アンケートの要望について即座に対応可能な事については早急に対応し、施設の改修等が必要な事については、対応を検討し、所管課への報告と共に協議を行うこととしている。	利用者アンケートについては、定期報告書により毎月報告されている。引き続き、アンケートをもとに、施設設備や業務の改善を図り、県民のニーズの把握に努め、管理運営に反映させること。

<p>運営目標の達成状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に比べ、利用者数が減少した要因は、社会環境の変化に伴う青少年のニーズの多様化や、少子化による影響と考えられる。今後、利用団体の小規模化も大きな原因として捉えるなかで、公平性を欠かない範囲で、少しでも規模の大きいグループ・団体が利用しやすい予約方法などを検討し、対応していく。</li> <li>・宿泊室の空き状況をホームページに開示したことで、宿泊室の稼働率が増加した。</li> <li>・施設の維持管理については、利用者が施設を安全かつ快適に利用していただけるよう、法規の定めに沿った管理を徹底すると共に、職員が定期的に行っている施設点検と修繕によって、適切に維持管理を行う。</li> <li>・県民のニーズに応えられるような、魅力ある事業展開と施設管理を行うために、利用者の声に耳を傾け、迅速で適切な施設管理を行う。</li> </ul>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本協定書や業務計画書に基づき、適正に管理・運営されている。また課題を把握し、利用者拡大に向けて、努力している。</li> <li>・利用者の満足度は概ね良好であるが、引き続き利用者の声に耳を傾け、更なる施設稼働率の向上と利用者数の増加を図る取り組みを期待する。</li> <li>・施設の老朽化が進んでいるので、利用者が安全快適に利用できるように、施設設備の日常の保守・点検を行い、不具合がないように迅速に対応すること。</li> </ul>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民のニーズに応えられる魅力ある事業を展開していけるよう、参加者アンケート等をもとに、事業の見直しを行い、改善していく。</li> <li>・引き続き、利用者数・稼働率向上を図るため、自主事業として「利用者拡大事業」を行い、大学・企業等への施設利用を案内するなどしていく。稼働率の低い部屋については、利用プランのようなものを提案し、利用者ニーズに適した案内をしていく。</li> <li>・新規利用者が再利用するように、一層のサービス向上及びPRに努めること。</li> <li>・施設管理についても、定期的に行っている施設点検、修繕により、施設を安全かつ快適に利用していただけるよう、適切に維持管理をしていく。</li> </ul>

7 管理体制(組織図)

平成26年4月1日現在

